

Info 1

看護部長退職について

2015年3月31日をもちまして、看護部長一本田 美恵子が神鋼病院を退職いたしました。看護部長在任中は、ひとかたならぬご指導ご支援を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

Info 2

医師退職について (2015年3月末付)

- ・消化器内科 部長 奥谷 俊夫
- ・循環器内科 医長 北 智之
- ・糖尿病代謝内科 医師 中川 靖
- ・呼吸器内科 医師 松本 佑介
- ・総合内科 専修医 一瀬 良英
- ・総合内科 専修医 栗田 威
- ・外科 専修医 浅利 建吾
- ・外科 専修医 長谷川 寛
- ・整形外科 専修医 山下 伸之輔
- ・呼吸器外科 専修医 横田 直哉
- ・泌尿器科 専修医 遠藤 貴人
- ・放射線診断科 専修医 窪田 光
- ・臨床研修医 熊谷 友里

Info 3

神鋼記念病院呼吸器センター地域連携講演会

対象：医療関係者

- 日 時：2015年4月25日(土) 午後5時～7時
- 場 所：神鋼記念病院呼吸器センター・管理棟5階 大会議室 (神戸市中央区脇浜町1-4-47)
- 講演1：「肺癌治療の進歩 ～分子標的治療薬を中心に～」
演者：神鋼記念病院 呼吸器センター 小田奈央
- 講演2：「肺癌における外科治療の工夫と個別化治療」
演者：公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院 呼吸器センター 主任部長 黄 政龍 先生

Info 4

第38回糖尿病教室

対象：患者さん

- 日 時：2015年5月12日(火) 午後2時開演 (開場：午後1時30分)
- 場 所：神鋼記念病院呼吸器センター・管理棟5階 大会議室 (神戸市中央区脇浜町1-4-47)
- プログラム：1. 糖尿病とは 演者：神鋼記念病院 糖尿病代謝内科 医師
2. 食事療法 演者：神鋼記念病院 管理栄養士
- 申込み方法：事前の申し込みは不要です。直接会場にお越しください

Info 5

第14回膠原病・リウマチ教室

対象：患者さん

- 日 時：2015年6月27日(土) 午後2時～4時
- 場 所：神鋼記念病院呼吸器センター・管理棟5階 大会議室 (神戸市中央区脇浜町1-4-47)
- プログラム：難病研究と新たな難病対策(仮)
演者：神鋼記念病院 膠原病リウマチセンター長 熊谷 俊一
- 申込み方法：事前の申し込みが必要です。詳しくは病院代表までお電話ください

Contents

- *理事長のご挨拶
- *就任のご挨拶
- *お知らせ
 - ・看護部長退職について
 - ・医師退職について
 - ・第38回糖尿病教室
 - ・第14回膠原病・リウマチ教室
 - ・神鋼記念病院 呼吸器センター地域連携講演会

神鋼記念病院理念
地域医療に貢献し、信頼される病院を目指します。

- 基本方針
1. 患者さんの立場にたった「あたたかい」医療を提供します。
 2. 個人の尊厳と生活の質を重視した医療を実践します。
 3. より良い医療を提供するために、常に学・技の研鑽に励みます。
 4. 全ての領域における医療安全に最大限の注意を払います。
 5. 快適で清潔な医療環境の構築に努力します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-4-47
TEL: 078-261-6711 (代表)
FAX: 078-261-6726
URL: <http://www.shinkohp.or.jp/>
発行責任者：理事長 山本 正之
編集責任者：神鋼記念病院広報委員長 山神 和彦

患者教室などの
詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院 検索

<http://www.shinkohp.or.jp/>



地域医療に貢献し、信頼される病院を目指します

「医療法人社団神鋼会」は2015年4月1日を以って、兵庫県知事により社会医療法人として認定されました。これまでの神鋼会の医療活動、特に救急医療への貢献に対して、その公益性を評価していただいた結果であります。

社会医療法人は公益法人と同等の経営の透明性を確保することを要求されております。私達は社会医療法人としての使命を理解して、「社会医療法人神鋼記念会」がこれからも質の高い医療を提供できるように、これまでの運営体制をさらに充実させて、医療技術の向上や医療施設の充実に取り組んでいきたいと考えております。引き続き救急医療への積極的な参加と優秀なスタッフ育成に努めてまいります。今後ともよろしくご支援をお願い致します。



社会医療法人神鋼記念会
理事長
山本 正之
Masayuki Yamamoto

院長就任のご挨拶

私は山本正之前院長の後任として、2015年4月1日付で社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院の院長を拝命致しました。院長という大役を拝命し、その重責に身の引き締まる思いです。

当院は伝統ある神鋼ブランドの28科333床の病院で、2011年6月には兵庫県指定がん診療連携拠点病院、同11月には地域医療支援病院、2014年4月にはDPC医療機関群Ⅱ群の指定を取得しています。地域の急性期病院で、社会医療法人、地域医療支援病院として、より親密な病診連携を構築し、「紹介患者さん、救急患者さんは断らない」という姿勢を貫きます。

また、がん診療連携拠点病院として高度な医療を推進するとともに、高齢化が進む人口構造の変化や、安全で良質な医療への要望に対して柔軟な対応も行い

病院長
東山 洋
Hiroshi Higashiyama



ます。病院の評価は「患者さんの満足度」であり、病院の財産は「そこで働く職員」です。全職員が一丸となって「患者さんのために全力を尽くす」という意識でチーム医療を実践し、職員にとっても働きやすく充実した職場となるよう努力いたします。そのために健全な病院経営は欠かせません。

私は、京都大学卒業後30年以上にわたり外科医として勤務してきました。神鋼病院では8年前から勤務し、肝胆膵や血管外科の手術を施行してきましたが、病院運営の状況を判断し、方針の最終決定をしたことはありません。皆様のご指導とご協力を賜り、微力ではありますが努力致す所存です。

副院長就任のご挨拶

副院長
藤本 康二
Koji Fujimoto



時間が短いため、患者さんのベッドサイドの椅子に座ってお話を聞きながら眠りそうになることもたびたびありました。それでも患者さんは眠っているのを知らないふりをして下さり、「先生、お疲れですね」と逆にこちらを気遣って下さいました。「病気だけを診るのではなく常に患者さんに寄り添いなさい」というこの教えは、あれから30年近い月日が流れ、髪の毛に白いものが増えた今でも、私の心に深く刻まれています。

当院は今日に至るまで、諸先生方から信頼して患者さんをお任せいただける病院になるべく努力してまいりました。今後も「神鋼記念病院が近くにあって良かった」と言っていただけのように、より一層地域医療の充実に努めてまいりたいと思います。今後ともなにとぞ宜しくお願い申し上げます。

患者さんのために全力を尽くす病院を目指します
神鋼記念病院は、全職員が一丸となつて

看護部長就任のご挨拶

2015年4月1日付けで、本田前看護部長の後任として看護部長に就任致しました。ご指名を頂いた時は、驚きとまだまだ微力な自分で良いのかと迷う日々が続きました。しかし、前部長の励ましと動機づけのおかげで、少しずつ覚悟が出来てきているというのが本音でございます。

神鋼記念病院看護部は、諸先輩方とともに、患者さんに「この病院を選んで良かった」と言われる看護を実践する、という理念で活動してきました。それは全員が目前の患者さんに、今の自分ができることを精一杯提供することであり、あるスタッフは優れた知識と経験による看護実践で、またあるスタッフは苦しんでいる患者さんの背中をそっとさずることかもしれせん。その一人ひとりの力を統合し、患者さ

看護部長
重見 奈名代
Nanayo Shigemi



んの「生きる力」の一助になりたいと思っています。

以前、病棟師長をしていた頃、あるがんの患者さんに「がんになったのは人生最大の不幸だが、この病院のスタッフに会えたのは人生最大の幸せだ」と言って頂いたことがあります。自分たちにはこの上もないエールとなりました。

厳しい医療情勢の中、どのような変化を要求されるのか不透明な時代ですが、自分たちが大切にしている事を見失わず、変化を恐れずに進んでいきたいと思ひます。

病院の職員一人ひとりの力と誠意を信じ、皆様のご指導・ご協力のもと日々、研鑽して参りますので何卒宜しくお願い致します。

社会医療法人化に伴って

平素より当院に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、当法人は本年4月1日をもちまして、兵庫県知事より社会医療法人と認定され、名称も「医療法人社団神鋼会 神鋼病院」から、「社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院」と変更致しました。ご承知のとおり社会医療法人は、救急医療や災害医療など特に地域で必要な五つの分野のいずれかの医療の提供を担う医療法人で、公立系の病院に準じる高い公益性がその経営に求められます。我々は、救急医療(休日・夜間の救急車受け入れ数750台/年以上)で認可されましたので、今後とも緊急に入院治療が必要な2次救急を中心に、地域のニーズを満たして参ります。

管理部長
篠宮 裕
Yutaka Shinomiya



2025年に向けた病床機能再編のために、昨年実施された病床機能報告制度に基づいて、現在兵庫県で策定中の地域医療ビジョンにおきましても、引き続き急性期医療を担う地域の中核的な存在として、皆様に必要とされる医療機関と位置づけられるために、弛まぬ取り組みを継続していきたいと考えております。このためにも、地域の病院・診療所をはじめとする関係施設との連携の更なる強化・深化はもとより、来院される患者さん達にとっても、より心地よい環境で受診頂けるように、医師・看護師をはじめとする職員一同、これからも「神鋼」という名に恥じぬよう、最大限の努力をして参ります。我々の新たな飛躍に、皆様のご理解とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。